



2024年度環境省LD-Tech認証 実施要領

2024年度環境省LD-Tech認証製品の公募説明会

令和 6 年（2024年）12月
2024年度環境省LD-Tech制度運営事務局



1.	2024年度の認証手続きについて	2
2.	FAQ	33
3.	参考：特別申請のクラス	43

1. 2024年度の認証手続きについて

実施要領

2024年度LD-Tech認証の実施要領

- 2024年度環境省LD-Tech認証の製品情報の募集を下記の内容により行います。
- 実施要領は、基本的に前年度事業のものを踏襲しています。

募集期間

令和6年（2024年）12月13日（金）～令和7年（2025年）年1月31日（金）17時00分

募集対象

対象製品

- ① 2024年度環境省LD-Tech水準表（最新版）に掲載されている、設備・機器等に該当する製品
（ただし、トップランナー制度に規定されている設備・機器等及び該当する製品（型番）については、メーカー等による申請は不要）
- ② 発売済又は令和7年（2025年）3月31日までに発売予定*の製品
- ③ 国内で製造又は販売している製品

対象事業者

対象設備・機器等を製造又は販売している日本法人

審査項目

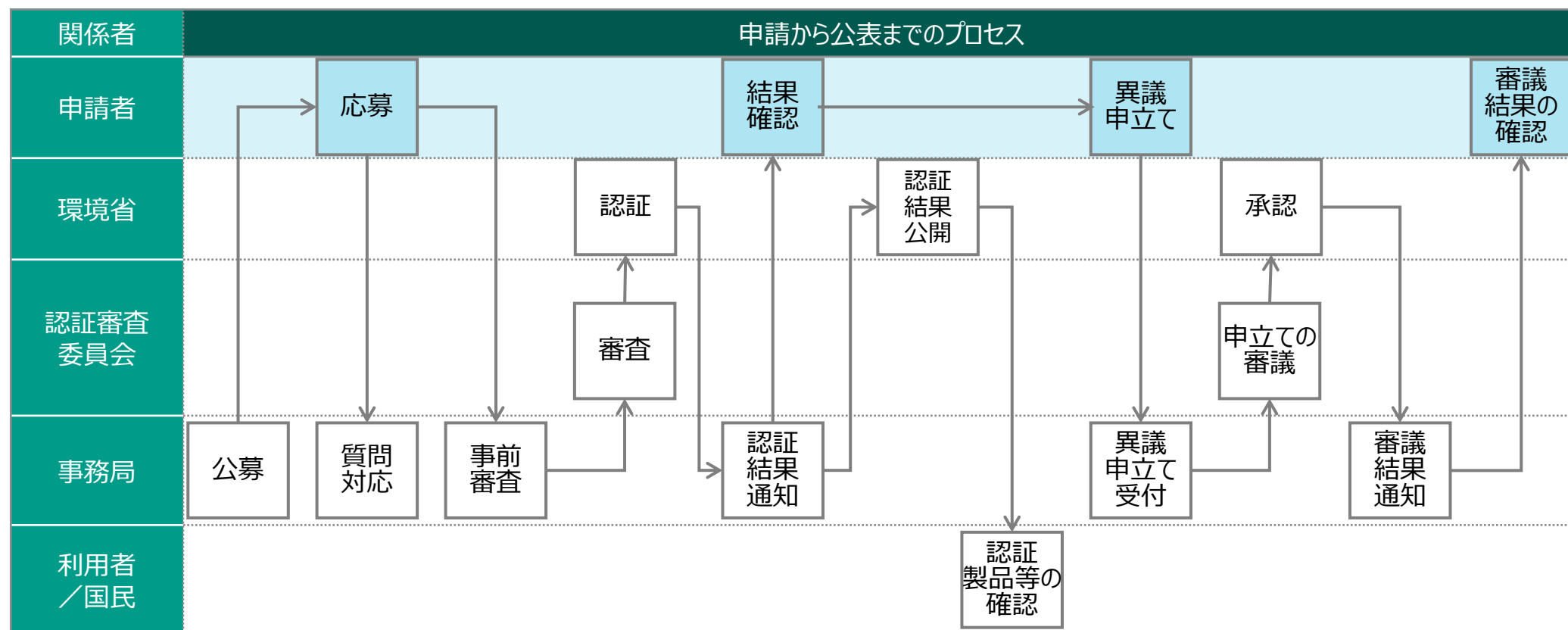
主に以下の項目に基づき認証審査委員会による審査を行います。

- ① 募集対象製品であること。
- ② 技術の原理・しくみが科学的に説明可能であること。
- ③ 申請された製品の性能が、「LD-Tech水準」と一致している又は「LD-Tech水準」よりも優れていること。
- ④ 申請された製品の性能が、2024年度環境省LD-Tech水準表（最新版）に記載されている計算方法及び試験条件に準拠して算出されたものであること。

*：認証製品一覧公開時において、ユーザーが購入又は発注できる製品であることを前提とするという趣旨

申請・審査・公表のプロセス

- 製品情報の募集は一般公募により行います。認証を希望する申請者は、所定の書類を用意の上、事務局に提出してください。
- 審査は、原則として提出された申請資料に基づき、事務局及び認証審査委員会による書面審査及びヒアリング審査により行います。審査にあたり、追加資料の提出を求める場合があります。
- 審査が終了し、適合と判断される場合は、環境省が環境省LD-Tech認証製品として公表します。各申請者に審査結果を通知いたします。否認の場合は、理由を付して通知します。



1. 2024年度の認証手続きについて／実施要領

通常申請・簡易申請・特別申請

- 申請内容は、「通常申請」「簡易申請」及び「特別申請」の3種類があります。
- 2024年度からLD-Tech水準が未設定のクラスに対し、「**特別申請**」を設置し、LD-Tech水準の設定有無に関わらず、製品申請が可能となりました。

	通常申請	簡易申請	前年度からの 変更点 特別申請
概要	申請資料・確認資料すべてを提出する申請 ✓ <u>簡易申請・特別申請に該当しない型番すべてが対象</u>	申請予定の製品が、簡易申請の3要件を満たす場合に、 <u>提出必要書類の一部が免除される申請</u> (詳細な要件は、P12に掲載)	<u>LD-Tech水準が未設定のクラスにおける申請</u>
提出を求める 申請資料	☐ 申請書（様式1） ☐ 申請製品リスト（様式2） ☐ 申請用チェックリスト（様式3）	☐ 申請書（様式1） ☐ 申請製品リスト（様式2） ☐ 申請用チェックリスト（様式3）	☐ 申請書（様式1） ☐ 申請製品リスト（様式2） ☐ 申請用チェックリスト（様式3）
提出を求める 確認資料	☐ 商用化確認資料 ☐ 性能確認資料 ☐ 原理・しくみ確認資料	(提出は免除)	☐ 商用化確認資料 ☐ 性能確認資料 ☐ 原理・しくみ確認資料
備考	☐ 商用化資料が提出できない場合は、 <u>代替資料と誓約書（補足様式1）</u> をご提出ください。	—	☐ 特別申請では応募製品の中から <u>最高性能の製品のみを認証</u> します。 ☐ 商用化資料が提出できない場合は、 <u>代替資料と誓約書（補足様式1）</u> をご提出ください。

1. 2024年度の認証手続きについて／実施要領

提出書類一覧

- 「申請資料」は、申請者単位で提出する資料であり、事務局指定の様式により作成します。
- 「確認資料」は、申請製品（型番）がLD-Tech水準への適合を確認するための根拠資料（例：製品カタログ等）であり、様式は任意です。申請製品（型番）単位で提出します。

区分	書類名称	書類の概要	通常申請	簡易申請	特別申請
申請資料	【様式1】申請書	環境省LD-Tech認証に係る実施規則、実施要領に基づき申請されることを誓約いただくための資料	必須	必須	必須
	【様式2】申請製品リスト	製品情報を登録いただくシート	必須	必須	必須
	【様式3】申請用チェックリスト	申請手続きにあたり、書類の提出漏れ等を防ぐためのチェックシート	必須	必須	必須
確認資料	商用化確認資料	発売済又は令和7年（2025年）3月31日までに発売予定の製品であることが分かる資料	必須	不要	必須
	原理・しくみ確認資料	水準表に記載されている「原理・しくみ」に合致することが分かる資料	必須	不要	必須
	性能確認資料	性能の計算方法及び試験条件が水準表と一致し、また性能が水準以上であることが分かる資料	必須	不要	必須

1. 2024年度の認証手続きについて／実施要領

「特別申請」の新設

- 昨年度までLD-Tech水準未設定のクラスは申請対象外でしたが、今年度から認証製品の対象として応募を受け付けることになりました。
- 申請区分は「特別申請」となり、**応募製品の中から最高性能の製品のみ認証を付与**します。
(詳細は次ページ)

前年度までの応募対象

認証対象	LD-Tech 水準
○	1.19
●	1.22
-	-

応募可能

応募不可

通常申請

通常申請
または
簡易申請

申請対象外

今年度の応募対象

申請区分	Oriented	LD-Tech 水準
通常申請		1.19
通常申請または簡易申請		1.22
特別申請		-
(トップランナー制度規定のため) 申請対象外		-

応募可能

応募不可

1. 2024年度の認証手続きについて／実施要領

通常申請と特別申請の認証製品数の違い

- 通常申請では、LD-Tech水準と一致またはLD-Tech水準より優れている場合、複数製品に認証を付与することが可能です。
- 特別申請の場合、応募された製品のうち、最高性能を有する 1 製品のみに認証を付与します。

通常申請

「LD-Tech水準」と一致している又は「LD-Tech水準」よりも優れている性能を持つ製品であれば、**複数社の製品に認証を付与**

2024年度環境省LD-Tech水準表

申請区分	Oriented	LD-Tech水準
通常申請		3.0



A社



性能値：3.0

両社の製品ともにLD-Tech水準を超えているため、**複数製品に認証付与**

B社



性能値：3.2



A社



性能値：3.0

応募製品の中で最高性能を有する**1 製品のみ認証を付与**

B社



性能値：3.2



特別申請

応募された製品のうち、最も高い性能値を有する **1 製品のみに認証を付与**

2024年度環境省LD-Tech水準表

申請区分	Oriented	LD-Tech水準
特別申請		-

※原則として、次年度LD-Tech水準は3.2となるため、次年度は性能値3.0の製品は認証対象外となる。

通常申請・特別申請における確認資料の取扱い（1/2）

【確認資料の共通化について】

一つの申請製品（型番）又は複数の申請製品（型番）において、その確認資料が同じである場合（例：同じカタログ内で商用化状況や性能、原理・しくみを確認することができる資料等）は、確認資料の共通化（複数の確認資料を一つの資料として提出すること）を認めます。

【確認資料の公開性について】

上記の確認資料は、原則として申請者のWEBページにおいて広く公表されている必要があります。ただし、WEBページにおいて広く公表されている資料を用意できない申請者は、下記の3条件を満たし、適当と認められた資料については、確認資料として受け付ける場合があります。該当する申請者は、代替書類と共に誓約書（補足様式1）をご提出ください。

- 社として合意された情報が掲載された資料であること。
- 申請者が、第三者からの問い合わせや依頼に対して、例外なく提供していること。
- 第三者が本資料を入手するための連絡先（窓口）が、申請者のWEBページやカタログに掲載されており、容易に特定できること。

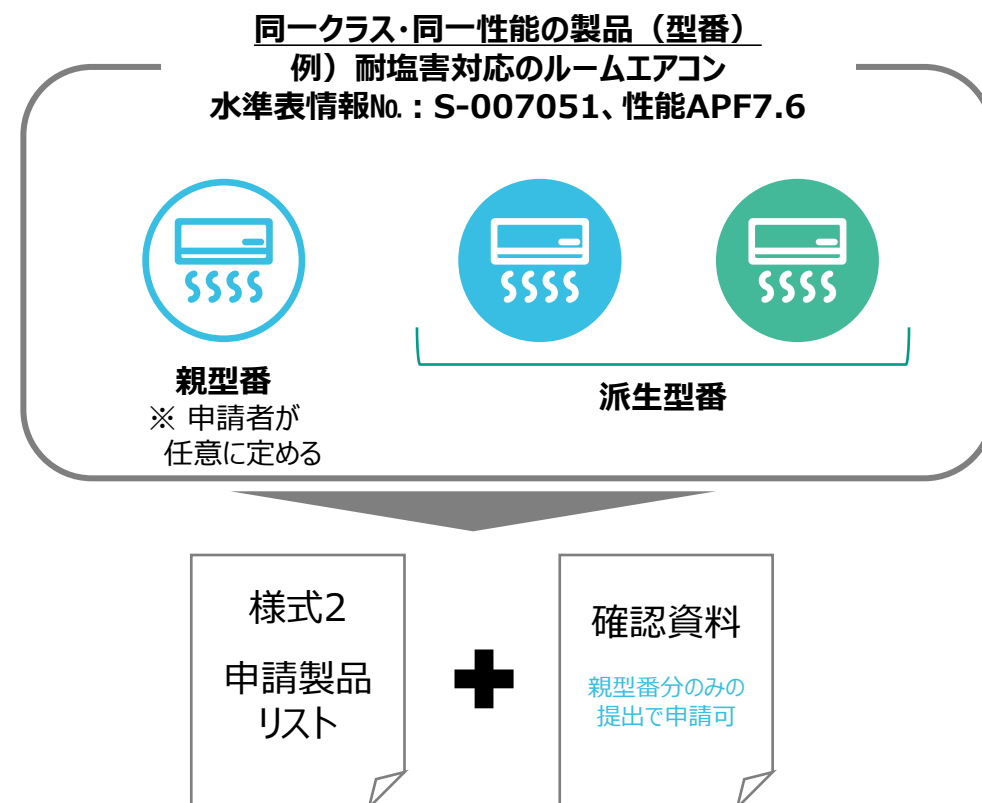
通常申請・特別申請における確認資料の取扱い（2/2）

【派生型番に関する確認資料の取扱いについて】

水準表上の同一クラスでかつ同一性能の製品（型番）は、任意の1製品（型番）を親型番とし、色違いなどの残りの製品（型番）を派生型番とできます。親型番に対して派生型番の関係にある製品（型番）については、様式2の該当欄に必要事項を入力してください。また、派生型番の製品の申請に限り、確認資料の提出は不要です。ただし、事務局が必要と判断する場合は提出を求める場合があります。

親型番・ 派生型番とは	水準表上の同一クラスでかつ同一性能の 関係にあると認められる製品（型番）群
親型番	任意の 1製品（型番） ※申請者が指定してください
派生型番	親型番以外の該当製品（型番）
確認資料の 提出	該当する製品は、確認資料をまとめることが 可能（親型番分のみの提出で申請可）

親型番・派生型番の例と提出する確認資料



簡易申請の対象となる製品の3要件

- 下記の3要件をすべて満たす製品（型番）については、簡易申請の対象となります。

① 前年度の環境省LD-Tech
認証製品一覧（最新版）に
掲載されている製品（型番）
であること

今回申請を行う製品の型番が、「2023年度環境省LD-Tech認証製品一覧（親・派生 全型番表示）」の最新版に掲載されていること。

② 今年度申請を予定するクラス
について、前年度申請のクラスの
内容と変更がないこと

今回申請を行う製品が該当する、「2024年度環境省LD-Tech水準表」中のクラス（水準表情報No.S-XXXXXX）について、該当のクラス（条件・能力）及び指標（測定単位、計算方法、試験条件）が「[2023年度環境省LD-Tech水準表](#)」から変更がないこと。

③ 申請する製品の性能が
LD-Tech水準と一致あるいは
優れていること

今回申請を行う製品が該当する、「2024年度環境省LD-Tech水準表」中のクラス（水準表情報No.S-XXXXXX）のLD-Tech水準と比較し、該当製品の性能が一致又は優れていること。

留意事項等（1/2）

（1）公表

環境省LD-Tech認証製品については、環境省ホームページにおいて、申請資料に記載された情報を公表します。また、併せて記者発表を行う場合があります。なお、当該事業者の財産管理上の利益、競争上の地位等を不当に害するおそれのある情報については、原則公表しません。

（2）「環境省LD-Tech」の名称の使用等に当たっての遵守事項

今回認証される製品は、「環境省LD-Tech認証制度 実施規則」の遵守事項が適用されますので、ご注意ください。

（3）認証時期による識別

認証された製品には、審査時点のLD-Tech水準を識別するための識別情報が付与されます。今回認証された製品は、“環境省LD-Tech 2024年度”として認証され、継続的に「環境省LD-Tech」の名称および認証マークを使用することが可能です。（認証マークは、認証付与された事業者にのみ配布予定）

（４）認証の取消等

次のいずれかに該当する場合には、当該製品に対し、認証を取消し、「環境省LD-Tech」の名称の使用又は認証製品の公表の中止を行うことがあります。

- ① 申請内容の虚偽、その他法令等に違反したことが判明した場合
- ② 審査基準に適合しないことが判明した場合
- ③ 実施規則に基づいて規定された遵守事項を遵守しない者に対し、注意喚起を行っているにも関わらず、改善が見られない場合
- ④ 重大な公序良俗違反、その他の環境省LD-Tech認証制度の信用を損ねる恐れのある行為が認められた場合
- ⑤ 申請者から認証取り下げの依頼があった場合（ただし、認証製品の販売終了はこれに該当しない）

なお、認証取得後、根拠資料を含む申請内容について誤表示があることが判明した場合、申請者は速やかに事務局あるいは環境省に報告を行ってください。また、申請者は、事務局あるいは環境省の要請に応じて、情報提供等へのご協力をお願いいたします。

（５）情報の取扱いについて

提出された申請資料は機密情報として取扱い、本認証審査関係者以外への開示は行いません。

【参考】2023年度の環境省LD-Tech認証マーク

- 認証が付与された事業者には、結果通知書に加えて「2024年度環境省LD-Tech認証マーク」を配布する予定です。
- 認証マークは、本制度のウェブページに掲載されている使用ガイドラインに沿ったうえで、環境省LD-Tech認証製品に関する情報発信にご活用いただくことが可能です。

2023年度環境省LD-Tech認証マークの例

正方形		長方形	
カラー	白黒	カラー	白黒
			

申請資料作成時の留意事項

様式1（申請書）作成時の留意事項（1/2）

- 様式1は、今回の申請内容に関する概要を記入してください。（なお、押印は不要）

様式1

年 月 日

環境省
地球温暖化対策事業室長 殿

(住所)
(会社名)
(代表者名)

代表権を有する者
(主に代表取締役) の氏名を入力

2024年度環境省LD-Tech認証 申請書

「2024年度環境省LD-Tech認証制度 実施要領」に基づき、下記のとおり申請いたします。

記

総申請件数:	373 [型番]
(以下、内訳)	
→通常申請による親型番の申請件数:	11 [型番]
→通常申請による派生型番の申請件数:	165 [型番]
→簡易申請による親型番の申請件数:	17 [型番]
→簡易申請による派生型番の申請件数:	165 [型番]
→特別申請による親型番の申請件数:	5 [型番]
→特別申請による派生型番の申請件数:	10 [型番]

英数字及び記号に関しては、
必ず半角で記載すること

押印は不要です

申請件数は申請者ご自身で
カウントし、様式1の該当欄に
入力してください

様式1（申請書）作成時の留意事項（2/2）

- 押印省略に伴う誓約事項へのチェック並びに主・副2名分の連絡先の入力をお願いします。

下記①～⑤について該当する場合、右欄にチェックしてください。
（全ての項目にチェックいただけない場合は、申請が受け付けられない場合があります。）

①上記実施要領及び「環境省LD-Tech認証制度 実施規則」の内容を確認のうえ、
これに従うことを誓約する

✓

②本申請の製品は、2024年度環境省LD-Tech水準表に掲載されている、
設備・機器等に該当する製品である

✓

③本申請の製品は、発売済又は令和7年3月31日までに発売予定の製品である

✓

④本申請の製品は、国内で製造又は販売している製品である

✓

⑤本申請内容に関して、社内決裁の記録あるいはそれと同等の記録があることを
誓約する（記録の例：書面による決裁文書、電子決裁やメール等の記録）

✓

記載内容をご確認いただき、
誓約可能な場合は
「✓」を
選択してください

※本申請に関する担当者（主・副）及び連絡先
（事務局の照会にご対応可能な担当者2名及び連絡先を御入力ください）

申請団体名：

郵便番号：

所在地：

所属部署：

[主]担当者名：

[主]連絡先/TEL：

[主]連絡先/e-mail：

[副]担当者名：

[副]連絡先/TEL：

[副]連絡先/e-mail：

以上

連絡先については、
主・副2名分の
入力
をお願いいたします

1. 2024年度の認証手続きについて／申請資料作成時の留意事項

様式2（申請製品リスト）の入力項目（1/3）

■ 申請製品リスト（Excel）に製品情報を登録する際は、下記の内容をご入力ください。

入力項目		必須/任意	説明	入力例
1	水準表クラスNo.	必須	水準表に記載された水準表クラスNo.を入力してください。	S-001774
2	団体名	必須	社名等を入力してください（部署名は不要）。	株式会社AAA
3	製品名	必須	申請製品の製品名（通称）を入力してください。	ガスヒートポンプαシリーズ
4	型番	必須	申請製品の型番を入力してください。 ※項目「申請方式 親/派生」が「派生」となる申請の場合、申請数が多くなる際は「A00-001～A99-999」や「A-(X/Y/Z)-(100/200/300/400/500)」等、まとめて入力することが可能。	A-450β
5	親/派生	必須	申請する型番について、親型番に指定する場合は「親」を選択、派生型番に指定する場合は「派生」を選択してください。 ※「派生」は、水準表のクラス、下記「性能（値）」が既出の型番（「親」）と一致するものを指す。（詳細は本資料P16を参照のこと）	親
6	通常/簡易/特別	必須	申請する型番について、通常申請として申請する場合は「通常」、簡易申請として申請する場合は「簡易」、特別申請として申請する場合は「特別」を選択してください。	通常
7	対応する親型番	必須 ^{*1}	「申請方式 親/派生」にて「派生型番」と指定する申請の場合、対応する親型番を1種類決めたとて、その型番を入力してください。	A-450α
8	派生型番の理由	必須 ^{*1}	項目「申請方式 親/派生」が「派生」となる申請の場合、色違い等、派生型番である理由を必ず入力してください。	回路違い
9	新規追加	必須 ^{*2}	前年度認証製品一覧に含まれない型番を派生型番として申請する場合は「✓」を選択してください。	✓

前年度からの
変更点

*1: 派生型番を申請する場合 *2: 前年度認証製品一覧に含まれない型番を派生型番として申請する場合

様式2（申請製品リスト）の入力項目（2/3）

■ 申請製品リスト（Excel）に製品情報を登録する際は、下記の内容をご入力ください。

入力項目	必須/任意	説明	入力例
10 商用化情報	必須	申請する型番について、販売済みもしくは令和7（2025）年3月31日までに販売される製品である場合は「✓」を選択してください。	✓
11 製造・販売情報	必須	国内で製造又は販売している製品である場合は「✓」を選択してください。	✓
12 商用化確認資料 ファイル名	必須 ^{*3}	通常申請/特別申請の場合は、商用化確認資料（電子媒体）を別途提出の上、そのファイル名を入力してください。 ※商品化確認資料と性能確認資料を同一の書類で提出する際は、そのファイル名を記載すること。	商用化確認1
13 商用化確認資料URL	必須 ^{*3}	（商用化確認資料を提出する場合）商用化確認資料を閲覧／入手できるウェブサイトのURLを入力してください。 ※Web上で確認できない資料である場合は、代替資料と誓約書（補足様式1）を提出すること。	http://www.OOO
14 原理・しくみ確認資料 ファイル名	必須 ^{*4}	通常申請/特別申請として申請する場合は、原理・しくみ確認資料（電子媒体）を別途提出し、そのファイル名を入力してください。	原理確認1
15 原理・しくみ確認資料 URL	必須 ^{*4}	（原理・しくみ確認資料を提出する場合）原理・しくみ資料を閲覧／入手できるウェブサイトのURLを入力してください。 ※Web上で確認できない資料である場合は、代替資料と誓約書（補足様式1）を提出すること。	http://www.OOO
16 値/機能	必須	「性能確認資料」に記載された、製品の性能を示す数値（カタログ値）を、必ず入力してください。 ※カタログ値を入力すること（小数点の取扱い等は留意すること）。	1.39
17 性能確認資料 ファイル名	必須 ^{*5}	（性能確認資料を提出する場合）性能確認資料のファイル名を入力してください。 ※商品化確認資料と性能確認資料を同一の書類で提出可能な際は、そのファイル名を記載すること。	性能確認1
18 性能確認資料URL	必須 ^{*6}	確認資料のURLを必ず付記すること。 ※Web上で確認できない資料である場合は、代替資料と誓約書（補足様式1）を提出すること。	http://www.OOO

*3：通常申請/特別申請かつ商用化確認資料を提出する場合、*4：通常申請/特別申請かつ原理・しくみ確認資料を提出する場合、*5：通常申請/特別申請かつ性能確認資料を提出する場合 *6：通常申請/特別申請かつ性能確認資料（カタログ等）を提出する場合（ただし、試験結果報告書を提出する場合は不要）

様式2（申請製品リスト）の入力項目（3/3）

■ 申請製品リスト（Excel）に製品情報を登録する際は、下記の内容をご入力ください。

入力項目	必須/任意	説明	入力例
19 計算方法 水準表記載内容	必須	申請製品の性能評価における計算方法が、水準表に記載されている内容に準拠していることを誓約できる場合は「✓」を選択してください。	✓
20 試験条件 水準表記載内容	必須	申請製品の性能評価における試験条件が、水準表に記載されている内容に準拠していることを誓約できる場合は「✓」を選択してください。	✓
21 製品の特徴	必須	認証された場合、 <u>認証製品一覧の情報として公表される製品の特徴を原則200文字以内</u> で必ず入力してください。	室外機の圧縮機をガスエンジンで駆動し、ヒートポンプ運転によって冷暖房を行う空調システムであり、本製品はXXXにより、環境負荷の削減を実現している。
22 問合せ先 部署	必須	認証された場合、認証製品一覧の情報として公表される連絡先の部署名を必ず入力してください。	お客様サポート室
23 問合せ先 担当者	必須	認証された場合、認証製品一覧の情報として公表される連絡先の担当者名を必ず入力してください。	お客様サポート担当
24 問合せ先 電話番号	必須	認証された場合、認証製品一覧の情報として公表される連絡先の電話番号を半角、"- "入りで必ず入力してください。	03-6867-****
25 問合せ先 E-mail	必須	認証された場合、認証製品一覧の情報として公表される連絡先のE-mailアドレスを必ず入力してください。	support@****.co.jp
26 問合せ先 URL	必須	申請製品が紹介されているホームページのURLを必ず入力してください。	http://www.****

派生型番を申請する際の入力方法

- 「申請方式」にて「派生」を選択する場合は、「対応する親型番」欄に該当する親型番を入力し、「派生型番の理由」にて親型番との違い（例：色違い等）を入力してください。
- 前年度認証製品一覧に未掲載の型番について、簡易申請する場合には、「新規追加」欄にて「✓」を入力してください。

記入例

型番	申請方式		派生型番 情報		
	親/派生	通常/簡易/特別	対応する親型番	派生型番の理由	新規追加
申請する全製品の型番を入力	親型番に指定する場合は「親」を選択、派生型番に指定する場合は「派生」を選択	通常申請として申請する場合は「通常」 簡易申請として申請する場合は「簡易」 特別申請として申請する場合は「特別」を選択	「申請方式 親/派生」にて「派生型番」と指定する申請の場合、対応する親型番を1種類決めたうえで、その型番を入力	「申請方式 親/派生」にて「派生型番」と指定して申請する場合、該当する親型番との違いを入力	前年度認証製品一覧に含まれない型番を派生型番として申請する場合は「✓」を選択
※商用化確認資料あるいは性能確認資料に記載されている型番を入力すること			※該当する親型番の「水準表クラスNo.」と同一であることを再度確認すること		※プルダウンから「✓」を選択
必須	必須	必須	必須(派生型番申請の場合)	必須(派生型番申請の場合)	必須(派生型番申請の場合)
A-450β	派生	簡易	A-450α	回路違い	✓

今年度新規申請する場合は「✓」を入力する欄を追加

前年度申請資料にてよく見られた不備内容の例（1）

- 簡易申請の場合、当該申請における様式2の「水準表クラスNo.」は、前年度認証製品一覧掲載時の「水準表クラスNo.」と一致しているかご確認ください。

不備内容

簡易申請時、申請する型番の該当する水準表クラスNo.が、前年度認証製品一覧の水準表クラスNo.と一致しない

A	B	C
様式2 申請製品リスト		
LD-Tech水準表 クラスNo.	区分	
	部門	技術分類
最新の水準表を参照し、クラスNo.(S-XXXXXX)を選択		
※一部、水準表(案)とクラスNo.が異なる場合があるの点に注意		
必須	自動出力	自動出力
S-001774	入力禁止	入力禁止

▲申請様式2

【注意ポイント】
クラスNo.の不一致

水準表 クラスNo.	区分	概要		クラス		
	技術分類	設備・機器等	原理・しくみ	条件	能力 (名称)	能力 (単位)
	空調機 (ヒートポンプ・個別方式)	ガスヒートポンプ	室外機内のコンプレッサの駆動をガスエンジンで行うヒートポンプ方式の空調調和機。	-	相当馬力数	7.5HP以下
S-001777						

例えば、水準表クラスNo.が前年度から変更になった場合、**通常申請**となります。

▲2023年度環境省LD-Tech水準表

お願い

申請時には、前年度（2023年度）認証製品一覧と今年度（2024年度）水準表をご確認の上、ご記入ください。

前年度申請資料にてよく見られた不備内容の例（2）

- 前年度認証製品一覧に掲載された製品を簡易申請する際、その性能値が前年度認証時から変更がある場合には、性能値の確認のため、性能確認資料の提出を求めます。

不備内容

「前年度認証製品一覧に掲載」かつ「前年度より性能値が変更になっている」製品を簡易申請する際、性能確認資料が未提出のため、今年度申請の性能値の照会ができない

申請方式		派生型番 情報			商用化確認				申請情報		
親/派生	通常/簡易/特別	対応する親型番	派生型番の理由	新規追加	商用化情報	製造・販売情報	商用化確認資料 ファイル名	商用化確認資料 URL	原理・しくみ確認資料 ファイル名	原理・しくみ確認資料 URL	値/機能
親型番に指定する場合は「親」を選択、派生型番に指定する場合は「派生」を選択	通常申請として申請する場合は「通常」、簡易申請として申請する場合は「簡易」、特別申請として申請する場合は「特別」を選択	「申請方式 親/派生」にて「派生型番」と指定する申請の場合、対応する親型番を1種類決めようとして、その型番を入力	「申請方式 親/派生」にて「派生型番」と指定して申請する場合、該当する親型番との違いを入力	前年度認証製品一覧に含まれない型番を派生型番として申請する場合は「✓」を選択	販売済みもしくは令和7(2025)年3月31日までに販売される製品であることを誓約できる場合は「✓」を選択	国内で製造又は販売している製品である場合は「✓」を選択	通常申請または特別申請として申請する場合は、商用化確認資料(電子媒体)を別途提出し、そのファイル名を入力	(商用化確認資料を提出する場合)商用化確認資料を閲覧/入手できるウェブサイトのURLを入力	通常申請または特別申請として申請する場合は、原理・しくみ確認資料(電子媒体)を別途提出し、そのファイル名を入力	(原理・しくみ確認資料を提出する場合)原理・しくみ資料を閲覧/入手できるウェブサイトのURLを入力	性能確認資料に記載された、製品の性能を示す数値(カタログ値)を入力
		※該当する親型番の「水準クラスNo.」と同一であることを再度確認すること		※プルダウンから「✓」を選択	※プルダウンから「✓」を選択	※プルダウンから「✓」を選択		※Web上で確認できない資料である場合は、代替資料と共に誓約書(補足様式1)を提出すること		※Web上で確認できない資料である場合は、代替資料と共に誓約書(補足様式1)を提出すること	※カタログ値を入力すること(小数点の取扱い等は留意すること)
必須	必須	必須(派生型番申請の場合)	必須(派生型番申請の場合)	必須(派生型番申請の場合)	必須	必須	必須(通常・特別申請の場合)	必須(通常・特別申請の場合)	必須(通常・特別申請の場合)	必須(通常・特別申請の場合)	必須
親	簡易				✓	✓					1.39

簡易申請の場合であっても、同一型番で性能値のみが変更になった場合、性能確認資料を基に、事務局にて検証作業を実施します。

【注意ポイント】
性能値が前年度と変更

お願い

簡易申請の際、当該製品の性能値が前年度認証申請時に比べて変更がある場合、性能確認資料のご提出をお願いいたします。

確認資料作成時の留意事項

確認資料に関する原則

- 確認資料は原則として公表資料であり、かつ製品（型番）についての情報が確認できる資料である必要があります。

原則①

公表情報
(Web公開資料)
であること

- ✓ 確認資料は、申請者様のWebページにて広く公開され、一般に誰でも確認ができる資料であることを原則とします。
- ✓ ただし、「性能確認資料」は、水準表の「LD-Tech水準」に“*”（アスタリスク）が付与されているクラスのみ、試験結果報告書等の非公開資料の提出も可能です。
- ✓ 公表資料が存在しない場合は、代替資料と誓約書（補足様式1）をご提出ください。

原則②

製品（型番）ごとの
情報が確認可能な
資料であること

- ✓ 確認資料は、すべての申請製品（型番）について、型番、性能、計算方法及び試験条件等の情報が確認できることを原則とします。
- ✓ ただし、同一資料にて複数の製品（型番）の情報を確認できる場合は、当該資料の提出も可能です。
- ✓ また、複数製品（型番）が同一クラス・同一性能で親型番・派生型番の関係にあり、「様式2 申請製品リスト」にて、該当欄に入力できる場合は、親型番分の確認資料のみの提出も可能です。
- ✓ 同一資料で商用化や性能等の複数の内容を確認できる場合は、「商用化確認資料」「性能確認資料」「原理・しくみ確認資料」の共通化も可能です。

商用化確認資料提出時の留意事項

- 商用化確認資料は、今回申請するすべての型番が判読できるようにマークを付けた上で、提出してください。

お願い

マークは、蛍光ペンや赤字など
分かりやすいものをご使用のうえ、
記載することとしてください。

αシリーズ				
タイプ				
容量	280	450	710	
相当馬力	10	16	25	
型番				
標準仕様	A-280 α	A-450 α	A-710 α	
塩害仕様	A-280 β	A-450 β	A-710 β	A-850 β
特別仕様	A-280 γ	A-450 γ	A-710 γ	A-850 γ
冷房能力 (kW)	28.0	45.0	71.0	85.0
暖房能力 (kW)	31.5	50.0	80.0	
APFp 期間成績係数	1.59	1.87	2.08	
法定冷凍トン (RT)	3.15	4.86	7.25	9.56

(注1) 上記の試験はJISB8627:2015条件にて運転したものです
(注2) APFpはJISB8627:2015条件により算出された値です



シリーズ史上最高の
環境性能・低環境負荷
αシリーズ

該当する型番にカラーペン等でマークしてください
(申請製品リストに入力されている型番と、本資料に記載の型番と完全に一致しない場合、商用化確認資料としては認められない。
再提出を依頼する場合があります)

複数の型番を申請する際、
商用化確認資料の点数をまとめる際には、
該当する型番全てにマークをする

性能確認資料（カタログの場合）の留意事項

- 性能確認資料にて、申請する型番のクラス（条件、能力）、性能値、計算方法、試験条件等を確認しますので、該当箇所にマークを付けてください。

お願い

マークは、蛍光ペンや赤字など
分かりやすいものをご使用のうえ、
記載することとしてください。

αシリーズ				
タイプ				
容量	280	450	710	
相当馬力	10	16	25	
型番				
標準仕様	A-280 α	A-450 α	A-710 α	A-850 α
塩害仕様	A-280 β	A-450 β	A-710 β	A-850 β
特別仕様	A-280 γ	A-450 γ	A-710 γ	
冷房能力 (kW)	28.0	45.0	71.0	
暖房能力 (kW)	31.5	50.0	80.0	95.0
APFp 期間成績係数	1.59	1.87	2.08	
法定冷凍トン (RT)	3.15	4.86	7.25	9.56

(注1) 上記の試験はJISB8627:2015条件にて運転したものです
(注2) APFpはJISB8627:2015条件により算出された値です

シリーズ史上最高の
環境性能・低環境負荷
αシリーズ

該当する型番にマーク
(申請製品リストに入力されている型番と完全に一致しない場合、性能確認資料として認められない)

複数の型番を申請する際、
性能確認資料の点数をまとめる際には、
該当する型番全てにマークをする
(ただし、型番と性能の紐づけがわかるように記載する)

該当のクラス（条件、能力）にマーク

該当の性能にマーク

該当の計算・試験条件にマーク

性能確認資料（試験結果報告書の場合）の留意事項

- 試験結果報告書等においても、申請する型番に該当するクラス（条件、能力）、性能値、試験条件、計算方法等を示す箇所にマークを付けてください。

お願い

マークは、蛍光ペンや赤字など
分かりやすいものをご使用のうえ、
記載することとさせていただきます。

試験結果報告書

試験日	2018年6月1日
製品名	αシリーズ
型番	A-PR100

2018年7月1日
デロイト トーマツ
コンサルティング合同会社
品質管理課 課長
丸ノ内太郎

品質管理担当者等の
名前又は押印

該当する型番にマーク
(申請製品リストに入力されている型番と完全に
一致しない場合、性能確認資料として認められない)

該当のクラス（条件、能力）を
いる箇所にマーク
(単位は水準表に揃えたものを記載)

該当の性能にマーク

該当する計算方法・試験条件を
示している箇所にマーク

試験項目	単位	設計仕様	測定値	適用規格
冷水 入口温度	℃	15.0	15.1	JISB8622:2009
冷水 出口温度	℃	7.0	7.2	
冷水流量	L/min	630	631	
冷水 圧力損失	kPa	60.0	60.2	
冷却水 入口温度	℃	32.0	32	
冷却水 出口温度	℃	40.0	40.1	
冷却水 流量	L/min	1,080	1,079	
冷却水 圧力損失	kPa	60.0	59.9	
加熱源 消費量	kW	270	270	
冷凍能力	kW	352	352 (100RT)	
COP 成績係数	-	1.36	1.36	

※COPの算出方法は、JISB8622:2009による

原理・しくみ確認資料の留意事項

- 原理・しくみ確認資料は、水準表に記載されている「原理・しくみ」に合致していることがわかるよう、該当箇所にマークを付けて提出してください。

お願い

マークは、蛍光ペンや赤字など
分かりやすいものをご使用のうえ、
記載することとしてください。



原理・しくみの説明部分にマーク

提出先及び問合せ先等

提出先及び問合せ先

- 申請者は申請資料及び確認資料を下記宛先までメール添付にて提出してください。
- 電子メールの件名は「LD-Tech/2024年度製品認証の申請について」としてください。
- 事務局からはメール到着確認後3営業日以内に、メール到着の旨を宛先全員にご連絡いたします。
- 申請に関するご質問はメール又はお電話にてお願いいたします。
- なお、問合せが集中し、電話がつながりにくい場合があります。
着信確認後、順次折り返しのお電話にて対応をさせていただきます。
- また、問合せにつきまして、事前にメールにて相談事項等をご連絡いただけますと幸いです。

2024年度環境省LD-Tech制度運営事務局
(デロイトトーマツコンサルティング)

【TEL】 070-3892-7310 (受付時間 平日9:30～17:30まで※)

【E-mail】ld-tech@tohatsu.co.jp

※令和6年(2024年)12月26日(木)～令和7年(2025年)1月7日(火)まで
年末年始休業に伴い、電話受付や問い合わせ等すべての業務をお休みさせていただきます。
ご不便をおかけしますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2. FAQ

- 過年度にLD-Tech認証が付与された製品（型番）についても、2024年度の認証に向けた手続きが必要か？
- 過年度に環境省LD-Tech認証が付与された製品（型番）については、申請方法が簡易化されるのか？

回答

- ✓ 今年度の環境省LD-Tech認証製品一覧への掲載をご検討されている場合は、過年度に認証が付与された製品（型番）においても、**今年度の製品申請にご応募いただくことが必要**です。
- ✓ なお、環境省LD-Tech認証への応募に際して、2023年度環境省LD-Tech認証製品一覧（最新版）に掲載がある製品（型番）について、**下記の要件に適合する場合は、簡易申請（提出必要書類の一部が免除される申請）にて手続きが可能**です。

- ①2023年度環境省LD-Tech認証製品一覧（最新版）に掲載されている製品（型番）であること
- ②申請するクラス・指標の記載内容に変更がないこと
- ③申請する製品の性能がLD-Tech水準と一致あるいは優れていること

- 環境省LD-Tech認証の申請手続きにあたって、必要な資料は何か？
水準値に適合していることを証明する方法・書類は何か？
(自社評価の実験データや第三者評価機関による評価データ等の必要性について)

回答

- ✓ 環境省LD-Tech認証製品の募集では、**「申請資料」及び「確認資料」の2種類の書類**の提出が必要です。
 - 「申請資料」とは、**事務局が指定する申請書**を指します。
申請者ごとに1セットの提出が必要です。
 - 「確認資料」とは、**申請製品が審査項目を満たしていることを申請者が証明するための資料**です。
「商用化確認資料」「性能確認資料」「原理・しくみ確認資料」の3種類があります。
- ✓ 水準値が適合していることを示す資料の種類は**「カタログ」**や**「試験結果報告書」**等であり、水準表に申請される各クラスについて記載されています。

- 申請日までに申請予定の製品の商品化が間に合わない場合であっても、申請可能か？

回答

- ✓ 申請日までに商品化が間に合っていない場合であっても、
**令和7年（2025年）3月31日までに発売予定の製品であれば、
申請可能**です。
- ✓ ただし、性能確認資料の提出にあたって、発売前であるため、カタログ等の提出が困難な場合、**代替資料（例：性能値や試験方法が記載されている技術書類）と共に誓約書（補足様式1）をご提出ください。**

- 締切後に不備が見つかった場合、申請資料の再提出は可能か？

回答

- ✓ 原則として、**申請者からの資料再提出は認めておりません。**
- ✓ ただし、提出資料の審査時に不明点があった場合には、事務局から問合せを行い、提出資料の確認を依頼することもあります。

- 環境省LD-Tech認証製品一覧について、更新頻度は年1回か？モデルチェンジなど更新機種（型番）について随時追加申請ができる運用について検討できないか？

回答

- ✓ 環境省LD-Tech認証製品一覧の**更新頻度は年1回**です。
- ✓ なお、認証製品一覧の更新頻度を含む運用については、次年度以降、事務局にて引き続き検討予定です。

■ LD-Tech水準の算出根拠は何か？また、どのように更新されるか？

回答

- ✓ LD-Tech水準は、商用化されている設備・機器のうち、**CO2排出量削減効果について最高の効率性能**を示す値や機能等の水準です。
- ✓ 各クラスにおける水準の指標及び計算方法、また計算のための試験条件は、環境省LD-Tech水準表に記載されています。
- ✓ 水準値の更新は、原則として事務局による調査に基づいて実施されます。
 - なお、水準値に関する情報提供も事務局にて常時受付けております。
(ただし、現在のところ、更新頻度は年1回です)
 - または、毎年実施している水準表(案)に関する意見募集において、ご意見いただけます。

- 2024年度環境省LD-Techリストや水準表に記載がない設備・機器等の追加や水準表のクラス追加等はどうような手続きとなるか？

回答

- ✓ 具体的には、リストに未掲載の設備・機器等の追加に関する提案募集を製品情報の募集とは別に実施しております。
- ✓ 水準表記載の各項目（クラス、指標、計算方法、試験条件等）の追加や見直しについても同様の形式で提案募集を実施しております。
- ✓ 提出いただいた提案については、事務局及び外部機関によるレビュー後に、環境省が決定します。

■ 環境省LD-Tech認証制度に関連した支援策や取組はあるか？

回答

- ✓ 脱炭素設備・機器の導入を支援する下記 2 つの環境省事業にて、2022年度・2023年度環境省LD-Tech認証製品の導入が計画されている場合、**採択・審査時の加点対象**となっております。
(なお、環境省LD-Tech認証製品の導入は、応募時の必須要件ではない)
- ✓ 今後、自治体や金融機関等における優遇施策が整備された場合、本制度ウェブページ内の「環境省LD-Tech認証制度を活用している取組・支援策の一覧」に情報を取りまとめていく予定です。

工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業 (SHIFT事業)

事業概要

- 工場や事業場での脱炭素化のロールモデルとなる取組を支援

優遇条件（令和6年度の場合）

- 2022年度または2023年度の環境省LD-Tech認証製品一覧（産業・業務、業務）に登録されている設備機器を補助対象として導入すること
- 1 機種でも含まれていれば加点対象
- 家庭部門に分類される設備機器は加点対象外

建築物等のZEB化・省CO2化普及加速事業の一部

事業概要

- ZEBの実現に必要な省エネ、省CO2性が高いシステム・設備機器等の導入にかかる費用の一部を支援

対象事業

- 新築建築物のZEB普及促進支援事業
- 既存建築物のZEB普及促進支援事業
- LCCO2削減型の先導的な新築ZEB支援事業

優遇条件（令和6年度の場合）

- 補助対象となる導入設備に、2022年度または2023年度の環境省LD-Tech認証製品が含まれる事業については、審査段階で加点

■ 申請する製品について、個別に質問したいが、面談を設定することは可能か？

回答

- ✓ 貴社製品の申請について、個別で質問がある場合は、事務局までメールに相談事項等をご連絡いただけますと幸いです。
- ✓ ご質問内容に応じて、個別相談会（対面・オンライン）を実施させていただくことも可能です。

※対面をご希望の場合は、東京都丸の内二重橋ビル会議室が会場となります。

参考：「特別申請」のクラス

「特別申請」のクラス (1/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-001006	空調機（ヒートポンプ・個別方式）	ガスヒートポンプ	-	相当馬力数	7.5HP以下	-	期間成績係数（APFp）	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-001016			寒冷地仕様	相当馬力数	7.5HP以下	-	期間成績係数（APFp）	
S-001021			発電機付	相当馬力数	7.5HP以下	-	COPp	
S-001022			発電機付	相当馬力数	7.5HP超10HP以下	-	COPp	
S-001026			発電機付	相当馬力数	7.5HP以下	-	期間成績係数（APFp）	
S-001027			発電機付	相当馬力数	7.5HP超10HP以下	-	期間成績係数（APFp）	
S-005002		氷蓄熱式パッケージエアコン	-	蓄熱利用冷房能力	14.0kW超16.0kW以下	-	日量蓄熱利用冷房効率	
S-005003			-	蓄熱利用冷房能力	16.0kW超22.4kW以下	-	日量蓄熱利用冷房効率	
S-005004			-	蓄熱利用冷房能力	22.4kW超28.0kW以下	-	日量蓄熱利用冷房効率	
S-005005			-	蓄熱利用冷房能力	28.0kW超45.0kW以下	-	日量蓄熱利用冷房効率	
S-005006			-	蓄熱利用冷房能力	45.0kW超56.0kW以下	-	日量蓄熱利用冷房効率	
S-005007			-	蓄熱利用冷房能力	56.0kW超80.0kW以下	-	日量蓄熱利用冷房効率	

「特別申請」のクラス (2/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-005008	空調機（ヒートポンプ・個別方式）	氷蓄熱式パッケージエアコン	-	蓄熱利用冷房能力	80.0kW超 112.0kW以下	-	日量蓄熱利用冷房効率	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照 くださいますようお願い致します。
S-009002	熱源・空調機（ヒートポンプ・中央方式）	自然冷媒ターボ冷凍機	-	冷却能力	300RT以上 400RT未満	-	期間成績係数（IPLV）	
S-010014		水冷ヒートポンプチラー	ブライン仕様、ブライン入口温度0℃、ブライン出口温度-5℃	冷却能力	1000.0kW超 1500.0kW以下	-	成績係数（COP）	
S-011005		空冷ヒートポンプチラー	-	冷却能力	50.0kW超 60.0kW以下	-	期間成績係数（IPLV）	
S-011016			出口温度60℃	加熱能力	60.0kW以下	-	成績係数（COP）	
S-011017			出口温度60℃	加熱能力	60.0kW超 90.0kW以下	-	成績係数（COP）	
S-011021			ブライン仕様、ブライン入口温度0℃、ブライン出口温度-5℃	冷却能力	60.0kW以下	-	成績係数（COP）	
S-011026			ブライン仕様、ブライン入口温度0℃、ブライン出口温度-5℃、散水式	冷却能力	60.0kW以下	-	成績係数（COP）	
S-011029			ブライン仕様、ブライン入口温度0℃、ブライン出口温度-5℃、散水式	冷却能力	120.0kW超 160.0kW以下	-	成績係数（COP）	
S-011030			ブライン仕様、ブライン入口温度0℃、ブライン出口温度-5℃、散水式	冷却能力	160.0kW超	-	成績係数（COP）	

「特別申請」のクラス (3/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-011031	熱源・空調機 (ヒートポンプ・中央方式)	空冷ヒートポンプチャラー	寒冷地仕様	冷却能力	60.0kW以下	-	成績係数 (COP)	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-011032			寒冷地仕様	冷却能力	60.0kW超 90.0kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-011033			寒冷地仕様	冷却能力	90.0kW超 120.0kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-011035			寒冷地仕様	冷却能力	160.0kW超	-	成績係数 (COP)	
S-011036			出口温度60℃ 寒冷地仕様	加熱能力	60.0kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-011037			出口温度60℃ 寒冷地仕様	加熱能力	60.0kW超 90.0kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-011041			寒冷地仕様、散水式	冷却能力	60.0kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-011042			寒冷地仕様、散水式	冷却能力	60.0kW超 90.0kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-011043			寒冷地仕様、散水式	冷却能力	90.0kW超 120.0kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-011127			寒冷地仕様、散水式	冷却能力	190.0kW超	-	成績係数 (COP)	
S-011046			散水式	冷却能力	60.0kW以下	-	期間成績係数 (IPLV)	
S-011056			散水式、冷水出入口温度差7℃	冷却能力	60.0kW以下	-	期間成績係数 (IPLV)	

「特別申請」のクラス (4/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-011066	熱源・空調機 (ヒートポンプ・中央方式)	空冷ヒートポンプチャラー	冷水出入口温度差7℃	冷却能力	60.0kW以下	-	期間成績係数 (IPLV)	
S-011080			冷房専用	冷却能力	50.0kW超 60.0kW以下	-	期間成績係数 (IPLV)	
S-011094			冷房専用、ブライン仕様、ブライン入口温度-2℃、ブライン出口温度-5℃	冷却能力	120.0kW超 160.0kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-011095			冷房専用、ブライン仕様、ブライン入口温度-2℃、ブライン出口温度-5℃	冷却能力	160.0kW超	-	成績係数 (COP)	
S-011096			冷房専用、散水式	冷却能力	60.0kW以下	-	期間成績係数 (IPLV)	
S-011106			冷房専用、冷水出入口温度差7℃	冷却能力	60.0kW以下	-	期間成績係数 (IPLV)	
S-011116			冷房専用、冷水出入口温度差7℃、散水式	冷却能力	60.0kW以下	-	期間成績係数 (IPLV)	
S-260028		デシカント空調システム	液体 (湿式)、再生熱源：未利用熱・再エネ熱利用	最大処理風量	300m3/h以下	kg/h/kW	除湿冷房消費電力あたり除湿量	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-260029			液体 (湿式)、再生熱源：未利用熱・再エネ熱利用	最大処理風量	300m3/h超 1,500m3/h以下	kg/h/kW	除湿冷房消費電力あたり除湿量	
S-260030			液体 (湿式)、再生熱源：未利用熱・再エネ熱利用	最大処理風量	1,500m3/h超 3,000m3/h 以下	kg/h/kW	除湿冷房消費電力あたり除湿量	

「特別申請」のクラス (5/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-260031	熱源・空調機（ヒートポンプ・中央方式）	デシカント空調システム	液体（湿式）、再生熱源：未利用熱・再エネ熱利用	最大処理風量	3,000m ³ /h超 6,000m ³ /h 以下	kg/h/kW	除湿冷房消費電力あたり除湿量	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-260032			液体（湿式）、再生熱源：未利用熱・再エネ熱利用	最大処理風量	6,000m ³ /h超	kg/h/kW	除湿冷房消費電力あたり除湿量	
S-013001	熱源・空調機（ヒートポンプ・中央方式）・熱源補機	氷蓄熱ユニット	-	定格日量冷却能力	1000kW h 以下	-	日量成績係数	
S-013002			-	定格日量冷却能力	1000kW h 超 2000kWh以下	-	日量成績係数	
S-013003			-	定格日量冷却能力	2000kWh超 3000kWh以下	-	日量成績係数	
S-013004			-	定格日量冷却能力	3000kWh超 4000kWh以下	-	日量成績係数	
S-013005			-	定格日量冷却能力	4000kWh超 5000kWh以下	-	日量成績係数	
S-013006			-	定格日量冷却能力	5000kWh超	-	日量成績係数	
S-018003	熱源・空調機（吸収式・中央方式）	一重二重併用形吸収冷温水機	節電型（冷却水量原単位 0.7m ³ /h、RT以下）、冷水入口温度15℃、冷水出口温度7℃	冷房能力	1000RT超	-	成績係数（COP）	
S-018006			冷水入口温度12℃、冷水出口温度7℃	冷房能力	1000RT超	-	成績係数（COP）	

「特別申請」のクラス (6/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-022002	熱源・空調機（吸収式・中央方式）	木質ペレット直焚き吸収冷温水機（二重効用）	-	冷房能力	80RT超1000RT以下	-	成績係数（COP）	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-022003			-	冷房能力	1000RT超	-	成績係数（COP）	
S-023001	熱源・空調機（地中熱利用・中央方式）	パッシブ地中熱利用システム	-	冷房能力	6.4kW	-	成績係数（COP）	
S-023002			-	冷房能力	8.2kW	-	成績係数（COP）	
S-023004			-	冷房能力	12.8kW	-	成績係数（COP）	
S-023005			-	冷房能力	21.9kW	-	成績係数（COP）	
S-023006			-	冷房能力	29.2kW	-	成績係数（COP）	
S-023007			-	冷房能力	36.5kW	-	成績係数（COP）	
S-027002	熱源（ヒートポンプ）	高温水ヒートポンプ（水熱源・循環式）	温水出口温度65℃、熱源水入口温度17℃、熱源水出口温度7℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	270kW超350kW以下	-	成績係数（COP）	
S-027004			温水出口温度65℃、熱源水入口温度17℃、熱源水出口温度7℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	540kW超	-	成績係数（COP）	

「特別申請」のクラス (7/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-027006	熱源 (ヒートポンプ)	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	温水出口温度65℃、熱源水入口温度17℃以上30℃以下、熱源水出口温度7℃以上20℃以下、温水出入口温度差10℃	加熱能力	270kW超 350kW以下	-	成績係数 (COP)	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照 くださいますようお願い致します。
S-027008			温水出口温度65℃、熱源水入口温度17℃以上30℃以下、熱源水出口温度7℃以上20℃以下、温水出入口温度差10℃	加熱能力	540kW超	-	成績係数 (COP)	
S-027010			温水出口温度65℃、熱源水入口温度20℃、熱源水出口温度15℃以上17℃以下、温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW超 350kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-027012			温水出口温度65℃、熱源水入口温度20℃、熱源水出口温度15℃以上17℃以下、温水出入口温度差5℃	加熱能力	540kW超	-	成績係数 (COP)	

「特別申請」のクラス (8/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-027014	熱源 (ヒートポンプ)	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	温水出口温度65℃、熱源水入口温度30℃、熱源水出口温度25℃以上30℃以下、温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW超 350kW以下	-	成績係数 (COP)	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照 くださいますようお願い致します。
S-027015			温水出口温度65℃、熱源水入口温度30℃、熱源水出口温度25℃以上30℃以下、温水出入口温度差5℃	加熱能力	350kW超 540kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-027018			温水出口温度65℃、熱源水入口温度38℃以上40℃以下、熱源水出口温度35℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW超 350kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-027019			温水出口温度65℃、熱源水入口温度38℃以上40℃以下、熱源水出口温度35℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	350kW超 540kW以下	-	成績係数 (COP)	

「特別申請」のクラス (9/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-027020	熱源 (ヒートポンプ)	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	温水出口温度65℃、熱源水入口温度38℃以上40℃以下、熱源水出口温度35℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	540kW超	-	成績係数 (COP)	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-027022			温水出口温度65℃、熱源水入口温度40℃、熱源水出口温度30℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	270kW超 350kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-027023			温水出口温度65℃、熱源水入口温度40℃、熱源水出口温度30℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	350kW超 540kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-027026			温水出口温度75℃、熱源水入口温度20℃、熱源水出口温度15℃以上17℃以下、温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW超 350kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-027027			温水出口温度75℃、熱源水入口温度20℃、熱源水出口温度15℃以上17℃以下、温水出入口温度差5℃	加熱能力	350kW超 540kW以下	-	成績係数 (COP)	

「特別申請」のクラス（10/29）

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-027028	熱源（ヒートポンプ）	高温水ヒートポンプ（水熱源・循環式）	温水出口温度75℃、熱源水入口温度20℃、熱源水出口温度15℃以上17℃以下、温水出入口温度差5℃	加熱能力	540kW超	-	成績係数（COP）	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-027030			温水出口温度75℃、熱源水入口温度30℃、熱源水出口温度20℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	270kW超 350kW以下	-	成績係数（COP）	
S-027031			温水出口温度75℃、熱源水入口温度30℃、熱源水出口温度20℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	350kW超 540kW以下	-	成績係数（COP）	
S-027032			温水出口温度75℃、熱源水入口温度30℃、熱源水出口温度20℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	540kW超	-	成績係数（COP）	
S-027034			温水出口温度75℃、熱源水入口温度30℃、熱源水出口温度25℃以上27℃以下、温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW超 350kW以下	-	成績係数（COP）	

「特別申請」のクラス (11/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-027035	熱源 (ヒートポンプ)	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	温水出口温度75℃、熱源水入口温度30℃、熱源水出口温度25℃以上27℃以下、温水出入口温度差5℃	加熱能力	350kW超 540kW以下	-	成績係数 (COP)	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-027036			温水出口温度75℃、熱源水入口温度30℃、熱源水出口温度25℃以上27℃以下、温水出入口温度差5℃	加熱能力	540kW超	-	成績係数 (COP)	
S-027039			温水出口温度75℃、熱源水入口温度35℃以上40℃以下、熱源水出口温度30℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	350kW超 540kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-027040			温水出口温度75℃、熱源水入口温度35℃以上40℃以下、熱源水出口温度30℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	540kW超	-	成績係数 (COP)	
S-027042			温水出口温度75℃、熱源水入口温度40℃、熱源水出口温度35℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW超 350kW以下	-	成績係数 (COP)	

「特別申請」のクラス（12/29）

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-027043	熱源（ヒートポンプ）	高温水ヒートポンプ（水熱源・循環式）	温水出口温度75℃、熱源水入口温度40℃、熱源水出口温度35℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	350kW超 540kW以下	-	成績係数（COP）	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-027044			温水出口温度75℃、熱源水入口温度40℃、熱源水出口温度35℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	540kW超	-	成績係数（COP）	
S-027045			温水出口温度90℃、熱源水入口温度17℃、熱源水出口温度7℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	270kW以下	-	成績係数（COP）	
S-027047			温水出口温度90℃、熱源水入口温度17℃、熱源水出口温度7℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	350kW超 540kW以下	-	成績係数（COP）	
S-027048			温水出口温度90℃、熱源水入口温度17℃、熱源水出口温度7℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	540kW超	-	成績係数（COP）	

「特別申請」のクラス (13/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-027049	熱源 (ヒートポンプ)	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	温水出口温度90℃、熱源水入口温度30℃、熱源水出口温度25℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW以下	-	成績係数 (COP)	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-027051			温水出口温度90℃、熱源水入口温度30℃、熱源水出口温度25℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	350kW超 540kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-027052			温水出口温度90℃、熱源水入口温度30℃、熱源水出口温度25℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	540kW超	-	成績係数 (COP)	
S-027054			温水出口温度90℃、熱源水入口温度40℃、熱源水出口温度30℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	270kW超 350kW以下	-	成績係数 (COP)	
S-027056			温水出口温度90℃、熱源水入口温度40℃、熱源水出口温度30℃、温水出入口温度差10℃	加熱能力	540kW超	-	成績係数 (COP)	

「特別申請」のクラス（14/29）

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-027058	熱源（ヒートポンプ）	高温水ヒートポンプ（水熱源・循環式）	温水出口温度45℃、熱源水入口温度25℃、熱源水出口温度12.5℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW超 350kW以下	-	成績係数（COP）	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-027059			温水出口温度45℃、熱源水入口温度25℃、熱源水出口温度12.5℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	350kW超 540kW以下	-	成績係数（COP）	
S-027060			温水出口温度45℃、熱源水入口温度25℃、熱源水出口温度12.5℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	540kW超	-	成績係数（COP）	
S-027062			温水出口温度45℃、熱源水入口温度0℃、熱源水出口温度-3℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	270kW超 350kW以下	-	成績係数（COP）	
S-027063			温水出口温度45℃、熱源水入口温度0℃、熱源水出口温度-3℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	350kW超 540kW以下	-	成績係数（COP）	

「特別申請」のクラス (15/29)



水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-027064	熱源 (ヒートポンプ)	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	温水出口温度45℃、熱源水入口温度0℃、熱源水出口温度-3℃、温水出入口温度差5℃	加熱能力	540kW超	-	成績係数 (COP)	
S-032003		熱風ヒートポンプ (水熱源・一過/循環式)	水熱源運転、温水出口温度70℃、熱源水入口温度50℃、熱源水出口温度38.6℃、温水出入口温度差50℃	-	-	-	成績係数 (COP)	
S-040006	ボイラ	温水機	潜熱回収型、LPG焚き	出力	2000kW以上	%	ボイラ効率	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-040009			潜熱回収型、都市ガス13A焚き	出力	2000kW以上	%	ボイラ効率	
S-042006		蒸気ボイラ (炉筒煙管ボイラ)	潜熱回収型、都市ガス13A焚き	蒸発量	1500kg/h未満	%	ボイラ効率	
S-042008			潜熱回収型、都市ガス13A焚き	蒸発量	3000kg/h以上	%	ボイラ効率	
S-043002		蒸気ボイラ (水管ボイラ)	-	蒸発量	1500kg/h以上 3000kg/h未満	%	ボイラ効率	

「特別申請」のクラス (16/29)



水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-046046	コージェネレーション	ガスエンジンコージェネレーション	60Hz、高速エンジン (1000rpm以上)	発電出力	2000kW超 3000kW以下	%	総合効率	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照 くださいますようお願い致します。
S-046048			60Hz、高速エンジン (1000rpm以上)	発電出力	2000kW超 3000kW以下	%	発電効率	
S-047037		ガスタービンコージェネレーション	50Hz、水・蒸気噴射方式	発電出力	40,000kW超	%	総合効率	
S-047042			50Hz、希薄予混合燃焼方式	発電出力	40,000kW超	%	総合効率	
S-047043			50Hz、上記以外	発電出力	3,000kW超 5,000kW以下	%	総合効率	
S-047044			50Hz、上記以外	発電出力	5,000kW超 7,000kW以下	%	総合効率	
S-047045			50Hz、上記以外	発電出力	7,000kW超 10,000kW以下	%	総合効率	
S-047046			50Hz、上記以外	発電出力	10,000kW超 40,000kW以下	%	総合効率	
S-047047			50Hz、上記以外	発電出力	40,000kW超	%	総合効率	
S-047052			50Hz、水・蒸気噴射方式	発電出力	40,000kW超	%	発電効率	
S-047057			50Hz、希薄予混合燃焼方式	発電出力	40,000kW超	%	発電効率	
S-047058			50Hz、上記以外	発電出力	3,000kW超 5,000kW以下	%	発電効率	

「特別申請」のクラス (17/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-047059	コージェネレーション	ガスタービンコージェネレーション	50Hz、上記以外	発電出力	5,000kW超 7,000kW以下	%	発電効率	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照 くださいますようお願い致します。
S-047060			50Hz、上記以外	発電出力	7,000kW超 10,000kW以下	%	発電効率	
S-047061			50Hz、上記以外	発電出力	10,000kW超 40,000kW以下	%	発電効率	
S-047062			50Hz、上記以外	発電出力	40,000kW超	%	発電効率	
S-047067			60Hz、水・蒸気 噴射方式	発電出力	40,000kW超	%	総合効率	
S-047072			60Hz、希薄予混 合燃焼方式	発電出力	40,000kW超	%	総合効率	
S-047073			60Hz、上記以外	発電出力	3,000kW超 5,000kW以下	%	総合効率	
S-047074			60Hz、上記以外	発電出力	5,000kW超 7,000kW以下	%	総合効率	
S-047075			60Hz、上記以外	発電出力	7,000kW超 10,000kW以下	%	総合効率	
S-047076			60Hz、上記以外	発電出力	10,000kW超 40,000kW以下	%	総合効率	
S-047077			60Hz、上記以外	発電出力	40,000kW超	%	総合効率	
S-047025			60Hz	発電出力	1000kW以下	%	発電効率	

「特別申請」のクラス (18/29)



水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-047082	コージェネレーション	ガスタービンコージェネレーション	60Hz、水・蒸気 噴射方式	発電出力	40,000kW超	%	発電効率	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照 くださいますようお願い致します。
S-047087			60Hz、希薄予混合 燃焼方式	発電出力	40,000kW超	%	発電効率	
S-047088			60Hz、上記以外	発電出力	3,000kW超 5,000kW以下	%	発電効率	
S-047089			60Hz、上記以外	発電出力	5,000kW超 7,000kW以下	%	発電効率	
S-047090			60Hz、上記以外	発電出力	7,000kW超 10,000kW以下	%	発電効率	
S-047091			60Hz、上記以外	発電出力	10,000kW超 40,000kW以下	%	発電効率	
S-047092			60Hz、上記以外	発電出力	40,000kW超	%	発電効率	
S-048001		燃料電池コージェネレーション	50Hz 燃料ガスの 種類：純水素	発電出力	75kW以下	%	総合効率	
S-048003			50Hz 燃料ガスの 種類：純水素	発電出力	150kW超	%	総合効率	
S-048004			50Hz 燃料ガスの 種類：純水素	発電出力	75kW以下	%	発電効率	
S-048006			50Hz 燃料ガスの 種類：純水素	発電出力	150kW超	%	発電効率	
S-048007			50Hz 燃料ガスの 種類：都市ガス	発電出力	75kW以下	%	総合効率	

「特別申請」のクラス (19/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-048009	コージェネレーション	燃料電池コージェネレーション	50Hz 燃料ガスの種類：都市ガス	発電出力	150kW超	%	総合効率	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-048010			50Hz 燃料ガスの種類：都市ガス	発電出力	75kW以下	%	発電効率	
S-048012			50Hz 燃料ガスの種類：都市ガス	発電出力	150kW超	%	発電効率	
S-048013			50Hz 燃料ガスの種類：バイオガス	発電出力	75kW以下	%	総合効率	
S-048015			50Hz 燃料ガスの種類：バイオガス	発電出力	150kW超	%	総合効率	
S-048016			50Hz 燃料ガスの種類：バイオガス	発電出力	75kW以下	%	発電効率	
S-048018			50Hz 燃料ガスの種類：バイオガス	発電出力	150kW超	%	発電効率	
S-048019			60Hz 燃料ガスの種類：純水素	発電出力	75kW以下	%	総合効率	
S-048021			60Hz 燃料ガスの種類：純水素	発電出力	150kW超	%	総合効率	
S-048022			60Hz 燃料ガスの種類：純水素	発電出力	75kW以下	%	発電効率	
S-048024			60Hz 燃料ガスの種類：純水素	発電出力	150kW超	%	発電効率	
S-048025			60Hz 燃料ガスの種類：都市ガス	発電出力	75kW以下	%	総合効率	
S-048027			60Hz 燃料ガスの種類：都市ガス	発電出力	150kW超	%	総合効率	

「特別申請」のクラス (20/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-048028	コージェネレーション	燃料電池コージェネレーション	60Hz 燃料ガスの種類：都市ガス	発電出力	75kW以下	%	発電効率	
S-048030			60Hz 燃料ガスの種類：都市ガス	発電出力	150kW超	%	発電効率	
S-048031			60Hz 燃料ガスの種類：バイオガス	発電出力	75kW以下	%	総合効率	
S-048033			60Hz 燃料ガスの種類：バイオガス	発電出力	150kW超	%	総合効率	
S-048034			60Hz 燃料ガスの種類：バイオガス	発電出力	75kW以下	%	発電効率	
S-048036			60Hz 燃料ガスの種類：バイオガス	発電出力	150kW超	%	発電効率	
S-054001	冷凍冷蔵機器	冷凍冷蔵倉庫用自然冷媒冷凍機（アンモニア/CO2二次冷媒システム）	庫内温度-20℃超10℃以下、CO2温度：-17℃超-5℃以下、冷却水入り口温度：32℃	冷凍能力	100kW以下	-	成績係数（COP）	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-054005			庫内温度：-20℃超10℃以下、CO2温度：-17℃超-5℃以下、冷却水入り口温度：30℃	冷凍能力	50kW超	-	成績係数（COP）	
S-054007			庫内温度：-20℃超10℃以下、CO2温度：-17℃超-5℃以下、吸込空気温度：32℃	冷凍能力	50kW超	-	成績係数（COP）	

「特別申請」のクラス (21/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-055002	冷凍冷蔵機器	自然冷媒冷凍冷蔵コンデンシングユニット	中温用（吸込み圧力飽和温度-10℃）、吸込ガス過熱度10K、周囲温度32℃	冷凍能力	16.0kW超 24.0kW以下	-	成績係数（COP）	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照 くださいますようお願い致します。
S-055006			低温用（吸込み圧力飽和温度-40℃）、吸込ガス過熱度10K 周囲温度32℃	冷凍能力	8.0kW超 12.0kW以下	-	成績係数（COP）	
S-055019			中温用（吸込み圧力飽和温度-10℃）、吸込ガス温度18℃、水冷式の凝縮器、凝縮器の冷却水温度32℃、周囲温度32℃	冷凍能力	16.0kW以下	-	成績係数（COP）	
S-055020			中温用（吸込み圧力飽和温度-10℃）、吸込ガス温度18℃、水冷式の凝縮器、凝縮器の冷却水温度32℃、周囲温度32℃	冷凍能力	16.0kW超 24.0kW以下	-	成績係数（COP）	
S-055022			中温用（吸込み圧力飽和温度-10℃）、吸込ガス温度18℃、水冷式の凝縮器、凝縮器の冷却水温度32℃、周囲温度32℃	冷凍能力	36.0kW超	-	成績係数（COP）	

「特別申請」のクラス (22/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-055023	冷凍冷蔵機器	自然冷媒冷凍冷蔵コンデンシングユニット	低温用（吸込み圧力飽和温度-40℃）、吸込ガス温度18℃、水冷式の凝縮器、凝縮器の冷却水温度32℃、周囲温度32℃	冷凍能力	8.0kW以下	-	成績係数（COP）	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-055024			低温用（吸込み圧力飽和温度-40℃）、吸込ガス温度18℃、水冷式の凝縮器、凝縮器の冷却水温度32℃、周囲温度32℃	冷凍能力	8.0kW超 12.0kW以下	-	成績係数（COP）	
S-055026			低温用（吸込み圧力飽和温度-40℃）、吸込ガス温度18℃、水冷式の凝縮器、凝縮器の冷却水温度32℃、周囲温度32℃	冷凍能力	18.0kW超	-	成績係数（COP）	
S-059020			-	容量	160kW超	%	エネルギー消費効率	
S-085001	窓	薄型Low-E複層ガラス	-	-	-	-	-	
S-107001	その他	農業等暖房用温水発生機	LPG焚き、50Hz	熱出力	233kW未満	%	熱効率	
S-107002			LPG焚き、50Hz	熱出力	233kW以上 465kW未満	%	熱効率	

「特別申請」のクラス (23/29)



水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-107003	その他	農業等暖房用温水発生機	LPG焚き、50Hz	熱出力	465kW以上 697kW未満	%	熱効率	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照 くださいますようお願い致します。
S-107004			LPG焚き、50Hz	熱出力	697kW以上 930kW未満	%	熱効率	
S-107005			LPG焚き、50Hz	熱出力	930kW以上 1163kW未満	%	熱効率	
S-107007			LPG焚き、50Hz	熱出力	1395kW以上	%	熱効率	
S-107008			都市ガス13A焚き、50Hz	熱出力	233kW未満	%	熱効率	
S-107009			都市ガス13A焚き、50Hz	熱出力	233kW以上 465kW未満	%	熱効率	
S-107010			都市ガス13A焚き、50Hz	熱出力	465kW以上 697kW未満	%	熱効率	
S-107011			都市ガス13A焚き、50Hz	熱出力	697kW以上 930kW未満	%	熱効率	
S-107012			都市ガス13A焚き、50Hz	熱出力	930kW以上 1163kW未満	%	熱効率	
S-107013			都市ガス13A焚き、50Hz	熱出力	1163kW以上 1395kW未満	%	熱効率	
S-107014			都市ガス13A焚き、50Hz	熱出力	1395kW以上	%	熱効率	
S-107015			LPG焚き、60Hz	熱出力	233kW未満	%	熱効率	
S-107016			LPG焚き、60Hz	熱出力	233kW以上 465kW未満	%	熱効率	

「特別申請」のクラス (24/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-107017	その他	農業等暖房用温水発生機	LPG焚き、60Hz	熱出力	465kW以上 697kW未満	%	熱効率	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照 くださいますようお願い致します。
S-107018			LPG焚き、60Hz	熱出力	697kW以上 930kW未満	%	熱効率	
S-107019			LPG焚き、60Hz	熱出力	930kW以上 1163kW未満	%	熱効率	
S-107021			LPG焚き、60Hz	熱出力	1395kW以上	%	熱効率	
S-107022			都市ガス13A焚き、60Hz	熱出力	233kW未満	%	熱効率	
S-107023			都市ガス13A焚き、60Hz	熱出力	233kW以上 465kW未満	%	熱効率	
S-107024			都市ガス13A焚き、60Hz	熱出力	465kW以上 697kW未満	%	熱効率	
S-107025			都市ガス13A焚き、60Hz	熱出力	697kW以上 930kW未満	%	熱効率	
S-107026			都市ガス13A焚き、60Hz	熱出力	930kW以上 1163kW未満	%	熱効率	
S-107027			都市ガス13A焚き、60Hz	熱出力	1163kW以上 1395kW未満	%	熱効率	
S-107028			都市ガス13A焚き、60Hz	熱出力	1395kW以上	%	熱効率	
S-109001	オフロード特殊自動車（建設機械・ハイブリッド型）	油圧ショベル（ハイブリッド型）	-	標準バケット山積容量	0.25 m3以上 0.36 m3未満	kg/標準作業	燃費	

「特別申請」のクラス (25/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-109002	オフロード特殊自動車（建設機械・ハイブリッド型）	油圧ショベル（ハイブリッド型）	-	標準バケット山積容量	0.70 m3以上 0.90 m3未満	kg/標準作業	燃費	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照 くださいますようお願い致します。
S-112001	オフロード特殊自動車（建設機械・電気型）	油圧ショベル（電動型）	-	標準バケット山積容量	0.25 m3以上 0.36 m3未満	kWh/標準作業	電力消費量	
S-112002			-	標準バケット山積容量	0.70 m3以上 0.90 m3未満	kWh/標準作業	電力消費量	
S-113001		ブルドーザ（電動型）	-	定格出力	19kW以上 75kW未満	g/kWh	燃費	
S-113002			-	定格出力	75kW以上 170kW未満	g/kWh	燃費	
S-113003			-	定格出力	170kW以上 300kW未満	g/kWh	燃費	
S-117016	乾燥機	熱回収式工業用繊維物乾燥機	4室2段	ローラー幅	1800mmW以上 2000mmW未満	MJ/kg	単位重量当たりの熱量	
S-117017			4室2段	ローラー幅	2000mmW以上 2300mmW未満	MJ/kg	単位重量当たりの熱量	
S-117018			4室2段	ローラー幅	2300mmW以上 2500mmW以下	MJ/kg	単位重量当たりの熱量	
S-171001	窓	薄型Low-E複層ガラス（家庭用）	-	-	-	-	-	
S-176002		五層Low-E複層ガラス・樹脂サッシ	引き違い	-	-	W/m2K	熱貫流率	

「特別申請」のクラス (26/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-189003	空調機 (ヒートポンプ)	ヒートポンプ冷温水システム	-	加熱能力	6.0kW超7.0kW以下	-	成績係数 (COP)	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照くださいますようお願い致します。
S-189009			往き水温 (出湯温度) 7℃	冷却能力	7.2kW超	-	成績係数 (COP)	
S-197001	燃焼式給湯器	ハイブリッド給湯機 (家庭用)	給湯専用機 (給湯: ヒートポンプ、ガス)	-	-	-	年間給湯効率	
S-197002			給湯暖房兼用機 (給湯、暖房: ヒートポンプ、ガス)	-	-	-	年間給湯効率	
S-227001	地熱発電	温水熱源小型バイナリー発電設備	100℃未満、200V/220V	出力	3.0kW未満	%	送電端発電効率	
S-227002			100℃未満、200V/220V	出力	3.0kW以上6.5kW未満	%	送電端発電効率	
S-227006			100℃未満、200V/220V	出力	200kW以上300kW未満	%	送電端発電効率	
S-227007			100℃未満、400V/440V	出力	3.0kW未満	%	送電端発電効率	
S-227008			100℃未満、400V/440V	出力	3.0kW以上6.5kW未満	%	送電端発電効率	
S-227012			100℃未満、400V/440V	出力	200kW以上300kW未満	%	送電端発電効率	
S-227013			100℃以上120℃未満、200V/220V	出力	3.0kW未満	%	送電端発電効率	
S-227014			100℃以上120℃未満、200V/220V	出力	3.0kW以上6.5kW未満	%	送電端発電効率	

「特別申請」のクラス (27/29)



水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-227015	地熱発電	温水熱源小型バイナリー発電設備	100℃以上 120℃未満、 200V/220V	出力	6.5kW以上 45kW未満	%	送電端発電効率	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照 くださいますようお願い致します。
S-227016			100℃以上 120℃未満、 200V/220V	出力	45kW以上 100kW未満	%	送電端発電効率	
S-227017			100℃以上 120℃未満、 200V/220V	出力	100kW以上 200kW未満	%	送電端発電効率	
S-227018			100℃以上 120℃未満、 200V/220V	出力	200kW以上 300kW未満	%	送電端発電効率	
S-227019			100℃以上 120℃未満、 400V/440V	出力	3.0kW未満	%	送電端発電効率	
S-227020			100℃以上 120℃未満、 400V/440V	出力	3.0kW以上 6.5kW未満	%	送電端発電効率	
S-227021			100℃以上 120℃未満、 400V/440V	出力	6.5kW以上 45kW未満	%	送電端発電効率	
S-227024			100℃以上 120℃未満、 400V/440V	出力	200kW以上 300kW未満	%	送電端発電効率	
S-227025			120℃以上 250℃未満、 200V/220V	出力	3.0kW未満	%	送電端発電効率	
S-227026			120℃以上 250℃未満、 200V/220V	出力	3.0kW以上 6.5kW未満	%	送電端発電効率	
S-227027			120℃以上 250℃未満、 200V/220V	出力	6.5kW以上 45kW未満	%	送電端発電効率	

「特別申請」のクラス (28/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-227028	地熱発電	温水熱源小型バイナリー発電設備	120℃以上 250℃未満、 200V/220V	出力	45kW以上 100kW未満	%	送電端発電効率	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照 くださいますようお願い致します。
S-227029			120℃以上 250℃未満、 200V/220V	出力	100kW以上 200kW未満	%	送電端発電効率	
S-227030			120℃以上 250℃未満、 200V/220V	出力	200kW以上 300kW未満	%	送電端発電効率	
S-227031			120℃以上 250℃未満、 400V/440V	出力	3.0kW未満	%	送電端発電効率	
S-227032			120℃以上 250℃未満、 400V/440V	出力	3.0kW以上 6.5kW未満	%	送電端発電効率	
S-227033			120℃以上 250℃未満、 400V/440V	出力	6.5kW以上 45kW未満	%	送電端発電効率	
S-227034			120℃以上 250℃未満、 400V/440V	出力	45kW以上 100kW未満	%	送電端発電効率	
S-227035			120℃以上 250℃未満、 400V/440V	出力	100kW以上 200kW未満	%	送電端発電効率	
S-227036			120℃以上 250℃未満、 400V/440V	出力	200kW以上 300kW未満	%	送電端発電効率	
S-228001		蒸気熱源小型バイナリー発電設備	200V/220V	出力	3.0kW未満	%	送電端発電効率	
S-228002			200V/220V	出力	3.0kW以上 6.5kW未満	%	送電端発電効率	

「特別申請」のクラス (29/29)

水準表クラスNo.	区分	概 要	クラス			測定単位		計算方法・試験条件
	技術分類	設備・機器等	条件	能力 (名称)	能力 (単位)	単位	名称	
S-228003	地熱発電	蒸気熱源小型バイナリー発電設備	200V/220V	出力	6.5kW以上 45kW未満	%	送電端発電効率	「2024年度環境省LD-Tech水準表」を参照 くださいますようお願い致します。
S-228004			200V/220V	出力	45kW以上 100kW未満	%	送電端発電効率	
S-228005			200V/220V	出力	100kW以上 200kW未満	%	送電端発電効率	
S-228006			200V/220V	出力	200kW以上 300kW未満	%	送電端発電効率	
S-228007			400V/440V	出力	3.0kW未満	%	送電端発電効率	
S-228008			400V/440V	出力	3.0kW以上 6.5kW未満	%	送電端発電効率	
S-228009			400V/440V	出力	6.5kW以上 45kW未満	%	送電端発電効率	
S-228010			400V/440V	出力	45kW以上 100kW未満	%	送電端発電効率	
S-228012			400V/440V	出力	200kW以上 300kW未満	%	送電端発電効率	
S-231006	バイオマス発電	ガスエンジン発電設備（メタン発酵発電用）	60Hz	出力	100kW以上 1000kW未満	%	総合効率	
S-231008			60Hz	出力	100kW以上 1000kW未満	%	発電効率	

